学校番号	209

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	ライフスポーツＢ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会におけるスポーツの意義や必要性を理解し、生涯にわたり自らが運動を実践できる能力を身につけるようにしよう。
・正しい服装、安全に配慮し時間、ルールを守り授業に参加できるようにしよう。
・各領域、各種目の特性を学び協力、責任を果たし、運動を楽しむことができるようにしよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
競技スポーツのルール・マナーを理解し、ゲームを円滑に行う
【思考力、判断力、表現力等】
体を動かす楽しさや、心地よさを味わうことによって、体の調子を整えたり、仲間と交流する。
【学びに向かう力、人間性等】
生涯スポーツとして行うことのできる種目を体験し、その楽しさを知り、技能を高める

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競う、攻防を展開する、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身につける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できる。 運動の継続、体力や技術向上をするための計画を考えることができる。	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任などの態度を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	体つくり運動	新体力テスト	a：テスト項目に応じた運動の種類や実施の仕方を理解し、実践することができる。 b：自己の体力に応じた目標と課題を見つけ、その課題に応じた運動を工夫することができる。 c：自ら体力や記録を高めるための効率的な方法を考え、運動計画を立てることができる。	技能テストと測定	実戦形式での活用	学習ノートとレポート
	ネット型	卓球 テニス	a：技術の名称や動きのポイント、ゲームの進め方を理解し、実践することができる。 b：ネット型の戦術の特徴を理解し、その特徴に応じた運動を工夫することができる。 c：自ら技能や記録を高めるための効率的な方法を考え、運動計画を立てることができる。	技能テストと測定	実戦形式での活用	学習ノートとレポート
2学期	ターゲット型	ゲートボール	a：技術の名称や動きのポイント、ゲームの進め方を理解し、実践することができる。 b：ターゲット型の戦術の特徴を理解し、その特徴に応じた運動を工夫することができる。 c：自ら技能や記録を高めるための効率的な方法を考え、運動計画を立てることができる。	技能テストと測定	実戦形式での活用	学習ノートとレポート
	ゴール型	バスケットボール(男子) サッカー(女子)	a：技術の名称や動きのポイント、ゲームの進め方を理解し、実践することができる。 b：ゴール型の戦術の特徴を理解し、その特徴に応じた運動を工夫することができる。 c：自ら技能や記録を高めるための効率的な方法を考え、運動計画を立てることができる。	技能テストと測定	実戦形式での活用	学習ノートとレポート
3学期	ニュースポーツ	キンボール インディアカ など	a：技術の名称や動きのポイント、ゲームの進め方を理解し、実践することができる。 b：ニュースポーツの特徴を理解し、その特徴に応じた運動を工夫することができる。 c：自ら技能や記録を高めるための効率的な方法を考え、運動計画を立てることができる。	技能テストと測定	実戦形式での活用	学習ノートとレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度